

# Akatake Times

Vol. 32  
(通算 第185号)

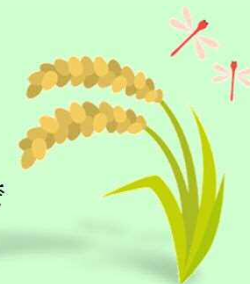
49期がスタートしました。  
来たる50期に向けて、総決算の1年になります。  
改善点を1つずつ改善し、強みをさらに伸ばし、盤石な体制作りを推し進めましょう！



## 『音止の滝』

子供を連れて滝を見に行きました。白糸の滝を見に行ったのですが、敷地内にもう一つ滝が有り、音止(おとどめ)の滝というものでした。滝の説明が書かれた立札を読むと、「音止の滝の名前の由来は、かつて源頼朝が挙行した富士の巻狩りの際に、曾我祐成・時致兄弟が父の仇である工藤祐経を討とうと考えその密議をしていたが、滝の轟音で話が聞き取れない。そこで神に念じたところ、たちどころに滝の音が止んだという伝説による。曾我兄弟は見事に本懐を遂げた」との事でした。高さ約25m、幅約5mのダイナミックな滝で、白糸の滝とは違う魅力がありました。

撮影日時: 2019年 7月 7日 写真と文: 製造部 小松



9月、晩夏の候です。

黄金色の稲穂、ツクツクホウシの声、虫の音がその季節を告げていて、酷暑もあと少しで過ぎやすい季節がやってきます。

台風や地震などの災害が無く、穏やかな日々が続くことを願っています。

#### ◆第49期を迎える

季節の移ろいの中、我が社は第49期を迎えました。

大きな節目を前にした大変重要な期となります。

掲げた今季の目標を是が非でも達成していかなければなりません。

月並みですが一人一人、力を合わせて頑張ることです。

#### ◆Beyond The Generation

現在、我が社の従業員の年齢層は、20代 13名、30代 14名、40代 21名、50代 12名、60歳以上 14名と、各年代とも同じような従業員数となっています。

最近の中小企業の若手の社員が入社して3年以内で退職するケースが多いと聞いています。

それは、同世代の仲間がいなくて孤独感や疎外感を味わうからだと思います。

我が社のような年齢層であれば、公私ともに何かと相談できる仲間がいることで安心感が得られるのではないのでしょうか。

そして、若い世代が将来の赤武エンジニアリングを創っていくのだという気概を持って種々の課題に取り組んでいって欲しいと思います。

お互い切磋琢磨し、意識を変え既成の概念を打ち破って、新しきことに挑戦していただきたいと切に願っています。

#### ◆5S活動の取り組み

2006年9月、第36期年度方針発表会において「生産管理システム強化推進委員会」を発足し5S活動を本格的に開始しました。

当初の活動はなかなかしんどいものがありましたが、それでも改善効果が目に見えて出てくることに達成感と感動を覚えたものでした。

実に会社を変えた取り組みでした。

それから12年の月日が経過しました。

今では見学に来てくださるお客様も結構多くなり、ありがたいことだと思っています。

ただ、最近の活動は少々マンネリ化しているのではないかの思いもあります。

意識を変え、やり方を変えた取り組みに私自身も参画していくつもりです。

5S活動を通じて“気づき”の感性を養い、公私ともに活かしていきたいものです。

#### ◆変わらぬ原理原則

過去の年次経営計画を見ていましたら、第35期に私が記録しておいた項目がありました。

いくつか抜粋してみますと、

「権限委譲と責任委譲を勘違いするな」

「会社の利益を生み出すのは製造部門、会社の将来を決定づけるのが開発部門だ。

メーカーにとって会社の命運を決めるのがこの二つの部門」

「会社を成長させるのが営業部門」

「良い会社に導くのが間接支援部隊」

「部下の提案に“しかし”をつけるな」

「苦を放り出し、楽だけを求めようとする事は原理原則に反する行為である」

「会社は原理原則に従って当たり前のことを継続していけば潰れない」

「会社を強くするのも経営者、潰すのも経営者」

等々です。

経営全般における“いい言葉”として書き留めたものです。

いくら時代が変わろうと変わらないものがあります。

### ◆委員会活動

我が社には、委員会が4、改善提案推進チームが1、社内報編集局が1、併せて6つの“集まり”があります。これらは互いに結び合っ、良い会社づくりの原動力になる大事な組織でもあります。大いに“コミュニケーション”を重ね、議論し、同じ目的意識を持って活動することを期待しています。



### ◆新聞に目を通し、世の中を視よう

- ・ 先日日本経済新聞の見出しに、「MaaS拡大。動けぬ日本」がありました。毎日のように目にするMaaS。フィンランドの首都ヘルシンキで、世界で初めて実現したMaaS。産学官が一体となった持続可能な都市づくりの一環でライドシェア、鉄道など複数の乗り物の予約や決済をアプリで済ませ、移動をシームレスに繋ぐ次世代のサービス。自家用車の優先順位が最下位、歩行者が最優先。シンガポール、フィンランドが先行しているようです。日本は司令塔が不在で出遅れているとのこと。
- ・ CASEで重要な位置を占める“E”(EV,電気自動車)。DNP社が開発したEV用ワイヤレス充電用コイルに車メーカーが飛びついた。DNPは電線を多数束ねる一般的なコイル方式をやめ、薄いシート型の開発にこぎ着けた。この記事は日経産業新聞でした。
- ・ 大手企業を中心に次代を担う事業の開発に躍起になっています。我々もそこにチャンスを見出し、いかねばなりません。
- ・ 広く、浅く新聞を読みましょう！

今期もご安全に！！

代表取締役社長 赤堀 肇紀

### 粉体工業展 大阪 2019のお知らせ

**開催日:** 10月16日(水)~10月18日(金) 10:00~17:00 (3日間共通)  
**場 所:** インテックス大阪 4・5号館 (当社小間: 4号館 4-I01)  
**製品技術説明会:** 10月18日(金) 15:00~15:35 (Aルーム)  
**発表テーマ:** 『フレコンバック・紙袋からの粉体抜き装置の紹介』



# 〜金づくち〜 レットサムライ

〜開袋&粉体投入はもう筋肉でやる時代ではない の巻〜



明日から保護服は在庫しなくてもいいわね...

## Reception Flower

受付に華やかさを添える生け花。

今回は、2019年6〜7月に生けた花の中から、選りすぐりの1点を選んでいただきました。



- ✿ ヒマワリ
- ✿ オニソガラム
- ✿ タニワタリ

## That's 雑学!

「足は第二の心臓」という言葉があります。足は血液を送り出すポンプのような役割をしています。心臓から足まで運ばれた血液は、その後心臓の方へ送り返さなければなりません。ですから、足の筋肉を鍛えたり、マッサージをして血流を良くすることは、全身の血液循環を良くすることに繋がります。

足の裏には全身のあらゆる器官や臓器の反射区が集まっているので、マッサージをすることで弱った機能を回復させ、全身の症状を改善させることができます。

先日の健康講座でも、足の裏の筋膜リリースで疲労しにくい体づくりになることや、肩こり・腰痛が楽になることなどを教わりましたね。足を動かさずことで体の内外からの活性化に繋がります。会社からラクロスボールを支給されましたので、筋膜リリースを毎日の習慣とし足から健康になりましょう!

